

# 子ども未来シンポジウムについて

## 【開催目的】

全国的な少子化と軌を一にするように大野町においても少子化が進行しており、児童生徒数も減少、令和4年度出生数は75人となり、令和16年度には児童生徒数は816名まで減少すると推計されています。

こうした状況を受け、町では、子どもたちにとって望ましい教育環境の確保と維持ができるよう小中学校のあり方についての検討を始めていますが、現状や課題について広く町民の方と共有し、共に考えていただく機会とするためシンポジウムを開催します。

## 【事業概要】

- 1 開催日時 令和5年8月5日（土） 午後1時30分～（開場：午後1時00分）
- 2 開催場所 大野町総合町民センター ふれあいホール
- 3 タイトル 主タイトル：子ども未来シンポジウム  
サブタイトル：～小中学校のあり方を考える～
- 4 内 容 ①町長による現状説明（15分程度）  
②基調講演（40分程度）
  - ・演題：（仮）新しい時代の学びを実現する教育環境整備のあり方
  - ・講師：早田 清宏さん（三重県教育委員会 小中学校教育課長）  
元 文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課 課長補佐③パネルディスカッション（40分程度）
  - ・テーマ：大野町小中学校のあり方について
  - ・コーディネーター：早田 清宏さん
  - ・パネラー：(1)原 尚さん（岐阜大学教育学研究科特任教授・大野町小中学校のあり方外部検討委員会委員長）  
(2)名取 康夫さん（岐阜県北方町教育長）  
(3)平松 亜希子さん（フリーアナウンサー）
- 5 意見聴取 シンポジウムにご参加いただいた方々からシンポジウムへの感想や小中学校のあり方についての意見を聴取し、以後の検討委員会への参考資料とする。  
聴取方法・・・当日配布予定のレジメに、QRコードを載せて、インターネット上でご意見を頂く